

2006 年 7 月 6 日

伝説、再び - BMW Group モービル・トラディションがル・マン・クラシックに登場

ミュンヘン/ル・マン発： BMW Group は、今年初めてル・マン・クラシックに参加します。伝説的なモータースポーツを称えるこのイベントには、1923 年から 1979 年にかけてレースに出走した車が招待され、今年は 3 度目となるフランスで開催されます。そして BMW Group モービル・トラディションからは最高のレーシングカー 3 台が登場し、同じく最高のドライバーがこのパレードに参加します。

1939 年 6 月 17 日にル・マンで世界デビューを果たし、今では伝説として語られている BMW 328 ツーリング・クーペが、初めて優勝してから 67 年後に同じ地で復活を遂げます。イタリアのコーチワークのスペシャリストであるツーリング社が手掛けた BMW 328 ツーリング・クーペは、ル・マン 24 時間耐久レースの開始早々からセンセーションを巻き起こしました。車体重量 780kg (1720 ポンド)、エンジン出力 136bhp のこのマシンは、シャウムブルグ＝リッペ侯国のマックス皇太子とハンス・ウェンチャーの 2 人のドライバーが 2 リッタークラスを制覇し、総合ランキングでも重量やパワーが上のクラスの競合を抑えて第 5 位となりました。今回は BMW モービル・トラディションのディレクター、ホルガー・ラップがハンドルを握ります。

そして伝説的な BMW M1 グループ 4 “ミュンヘン・カー” もまた、ル・マンに帰ってきます。このマシンが 1981 年に 24 時間耐久レースに出場した当時、ひととき目立つ外観で人目をひきました。他のマシンが大きなロゴや主要スポンサーの名前で覆われていたのに対し、BMW M1 はアーティストのウォルター・マラーが伝統的なミュンヘンの宿や歴史的建造物などを手描きした美しいスタイルを誇り、自動車メーカーと地元のスポンサーとの絆を今日まで結び付けています。

この特別なマシンのコックピットに座るのは、伝説的なプロレーサーであり BMW を代表するバイエルンのレオポルト王子です。自身のモータースポーツ人生の中でも、最も素晴らしい時間を過ごしたマシンとして BMW M1 を挙げています。F1 と F2 を除いて、彼は正にモータースポーツ界のベテランであり、練習やレースにも積極的に取り組んでいました。1993 年からは BMW の現役ドライバーとしても活躍しています。

さらに BMW はル・マンの経験を豊富に持つドライバー、マーク・スレールを招聘しました。スイス出身の彼は、1979 年のヨーロッパ F2 チャンピオンシップの他にも様々な大会で優勝を果たし、80 年代に F1 に移籍しました。そして今回のル・マン・クラシックでは 1977 年の BMW 320 グループ 5 のハンドルを再び握ります。

1977 年にモータースポーツ界にデビューを果たした BMW 320 は、BMW モータースポーツ社が 1972 年に手掛けた BMW 3.0 CSL クーペ (70 年代初期に国際的なサーキットで好評を博した伝説的なクーペ) の縞の外観を受け継いでいます。グループ 5 のレーシングカー、BMW 320 は特大のホイール・アーチ、大きなフロントスポイラー、リアウィングで特に目立っていました。そしてボンネットの中には、BMW が誇る 2 リッター直列 4 気筒 300 馬力、フォーミュラ 2 エンジンが搭載されています。レース用サスペンション、そしてエアロダイナミクスの改良により、これほどのパワーを実現できたのです。

ピットレーンの巨大パビリオンには、BMW Group モービル・トラディションが誇るバイクや 1950 年代のレーシングカーはもちろん、24 時間耐久レースの成功の歴史が展示されます。パビリオン近くの BMW クラブ・ド・フランスでも、BMW のクラシック・カーの一部が展示されます。